

2016年北海道”たのしい授業”講座での分子模型作り

2016. 1. 21 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

1月6日～8日の北海道”たのしい授業”講座のいつでもものづくりで、分子模型を作ってもらいました。

分子模型作りコーナーはここ数年、同じ場所で、全体会場の一角に8人が自由に作れるように道具を並べ、資料とペンキを塗った発泡スチロール球を用意しました。

1日目は阿部さんがDNAの部品を、吉田さんが砂糖分子を作りに来てくれました。講座に初めて参加して、初めて分子模型作りを見た人もいて、「《もしも原子が見えたなら》の講座を受けて、興味があったら来てください」と声をかけました。分子模型作り以外にも「ういろう&わらび餅作り」も担当したので、けっこう忙しかったです。結局、講座などの準備に時間がかかり、会場を出たのは1時を少しまわっていました。

2日目は、朝は電気パンでスタート。予想以上に反応があってちょっと驚きました。雑誌に掲載されたものづくりですが、読んだだけで試してみる人は案外少ないのかも知れません。2日目は午後には《燃焼》の講座があって、バタバタしてたので、よく分からないけど、たくさんの方が分子模型作りコーナーに来てくれたようです。夜はいつものように遅くなり、会場を出たのは1時半を過ぎてしまいました。

3日目は《自由電子が見えたなら》の講座があるので、朝のうちに片付けるつもりでしたが、ゆきちゃんが水分子を作りに来てくれたので、のんびり作ってもらいました。

